

## 各評価項目

評価項目		評価の着眼点	評価のウエイト	
業務実施体制	管理技術者	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画業務実績の内容 管理技術者として、官公庁発注の①「市町村都市計画マスタープラン」の策定業務の完了実績があり、②防災指針策定を含む立地適正化計画の策定・見直し業務の受注実績又は完了実績がある。 業務の受注・完了実績は、テクリス等で確認できること。 なお、業務実績が認められない場合は、欠格とする。	4	
	担当技術者	技術者資格、その専門分野の内容 ①技術士（建築部門・都市及び地方計画、又は総合技術管理部門・建設-都市及び地方計画）の資格を有する。 ②RCCM（都市計画及び地方計画部門）を有する。 なお、上記以外の場合は、欠格とする。	2	
	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画業務実績の内容	管理技術者又は担当技術者として、官公庁発注の①「市町村都市計画マスタープラン」の策定業務の完了実績があり、②防災指針策定を含む立地適正化計画の策定・見直し業務の受注実績又は完了実績がある。 業務の受注・完了実績は、テクリス等で確認できること。 なお、業務実績が認められない場合は、欠格とする。	4	
業務実施方針	業務への理解度	業務の目的や条件、方針等について、関係法令や社会情勢等を適切に踏まえているか。 松阪市の総合計画や現行の松阪市都市計画マスタープラン及び松阪市立地適正化計画の内容を踏まえた方針になっているか。	9	
業務工程フロー、計画	実施手順・工程計画の明確性、妥当性	業務フローについて、業務実施手順は明確になっているか、妥当なものか。 工程計画について、業務量を的確に把握しているか。スケジュールは妥当なものか。	8	
提案内容の評価	都市計画マスタープラン	調査方法の的確性、独自性	現行計画の評価・検証を含めた現況の把握や、上位計画および関係法令等の情報収集・整理について適切な調査方法が示されているか。また、独自性のある手法や考え方が示されているか。	15
		地域理解度	本市における都市計画の課題の整理について、適切な手法が示されているか。また、地域の実情や意見等を適切に把握できる計画になっているか。	15
	立地適正化計画	現行計画の評価・見直し手法	現行計画の評価・検証について、適切な手法・考え方が提案されているか。 計画の見直しについて、社会情勢や関係法令等を踏まえた適切な手法・考え方が提案されているか。	5
		防災指針の作成	防災指針の作成について、松阪市の地域特性を踏まえた適切な提案がなされているか。 社会情勢や関係法令等を踏まえた適切な手法・考え方が提案されているか。	10
シヨレンゼン評価	業務の知識、取組姿勢	業務について十分に理解をしているか。 説明や意見交換等での応対姿勢は適切か。また、質問への回答は的確か。 積極的な姿勢や意欲、熱意は感じられるか。	8	
見積書	業務コスト	本業務の経済性について評価する。	20	
合計			100	